



59-54

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年 6月 28日

豊 田 市 長 殿

提出者

住所 愛知県豊田市高丘新町天王1番地

氏名 アイシン高丘株式会社

代表取締役 奥田 誠

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 050-3094-5319

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

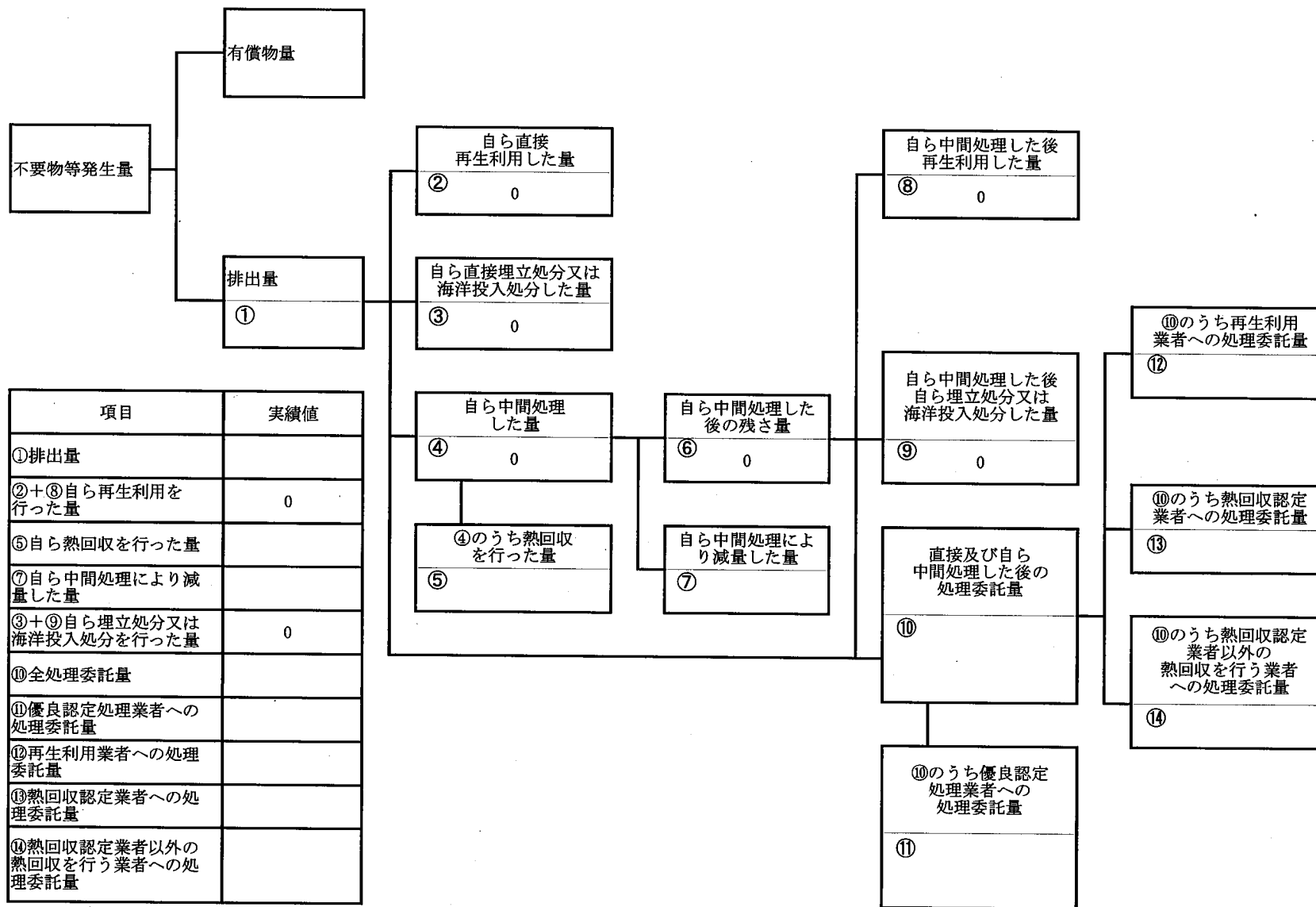
事業場の名称	アイシン高丘株式会社 本社工場
事業場の所在地	豊田市高丘新町天王1番地
事業の種類	31：輸送用機械器具製造業
産業廃棄物処理計画における計画期	令和5年 4月 1日～令和6年 3月 31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	30,978 t	全処理委託量	30,978 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	9,372 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	29,683 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
※事務処理欄			

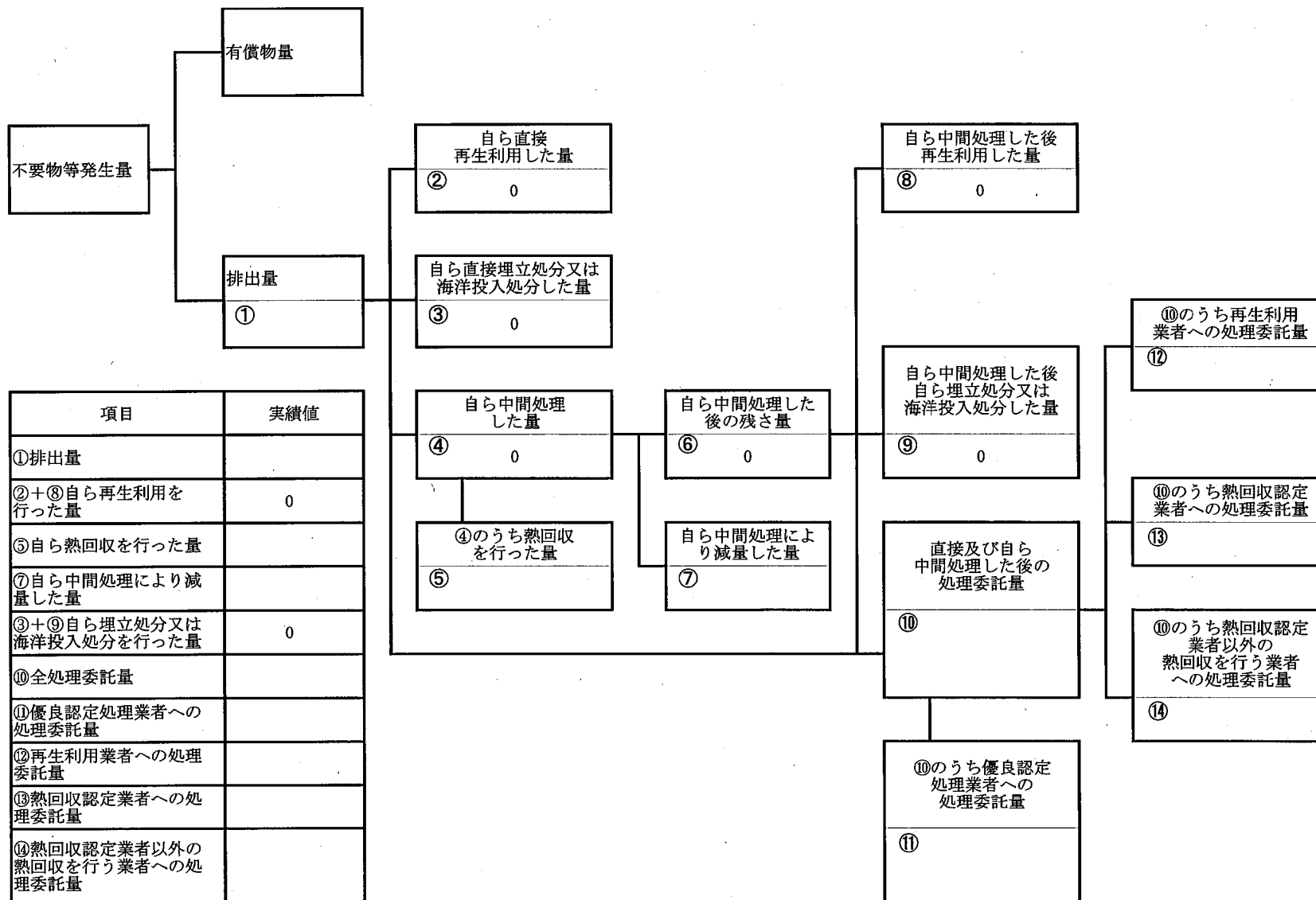
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：鉋さい/鋳物ダスト)



計画の実施状況

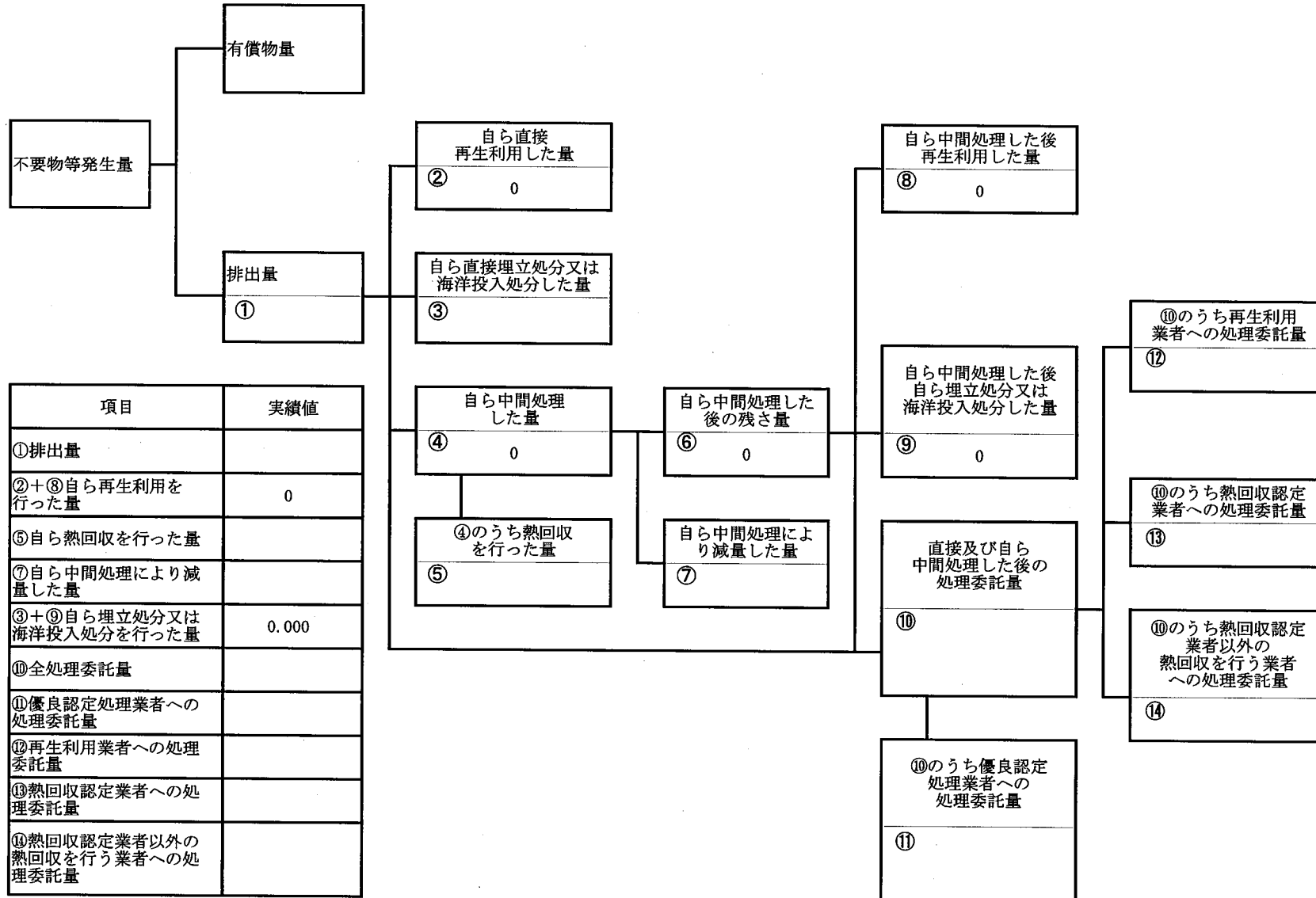
(産業廃棄物の種類：鉍さい/鋳物砂（再生）)



項目	実績値
①排出量	
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

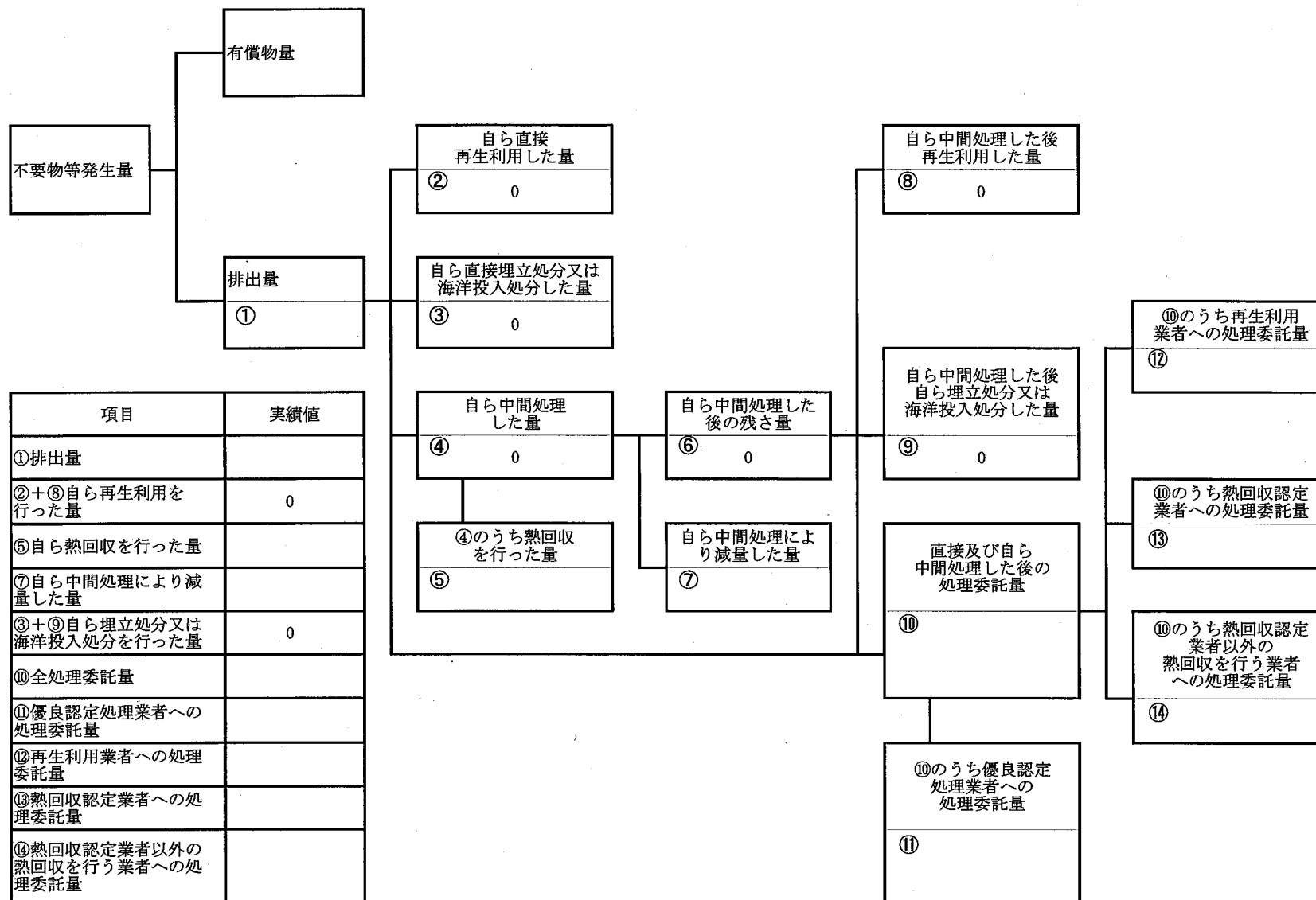
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：鉍さい/ノロくず)



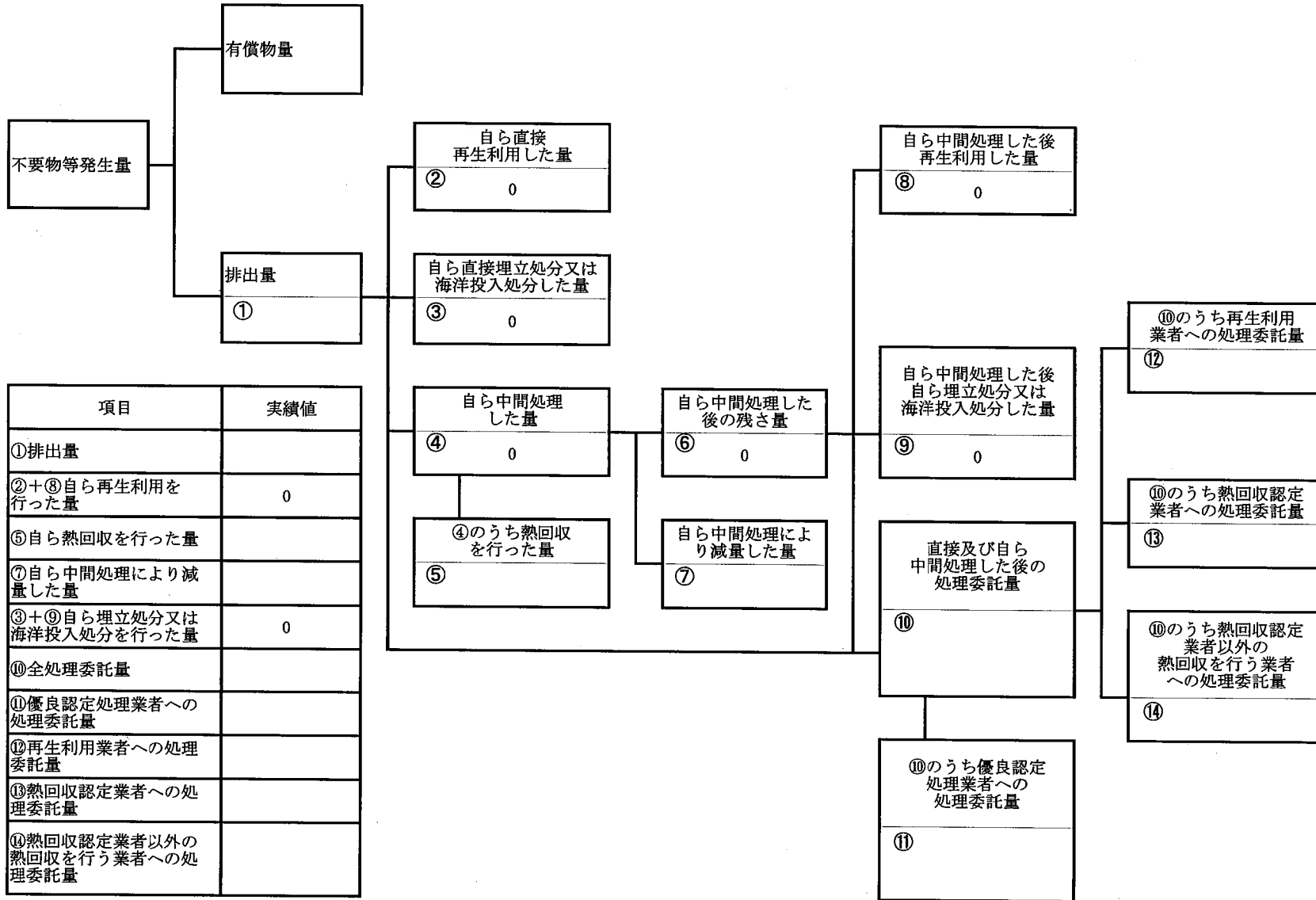
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：鉍さい/キュポラスラグ)



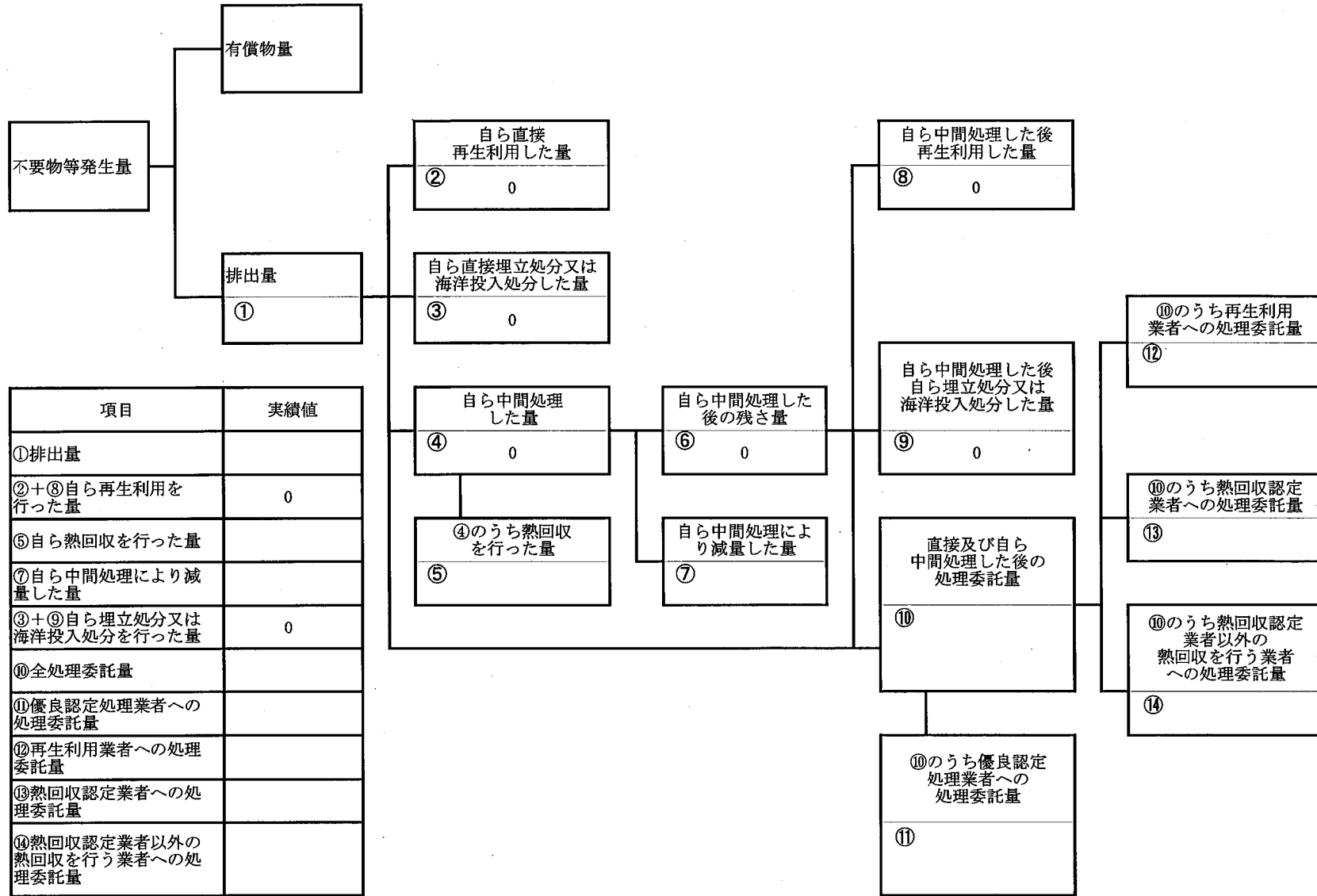
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：鉍さい/脱硫スラグ)



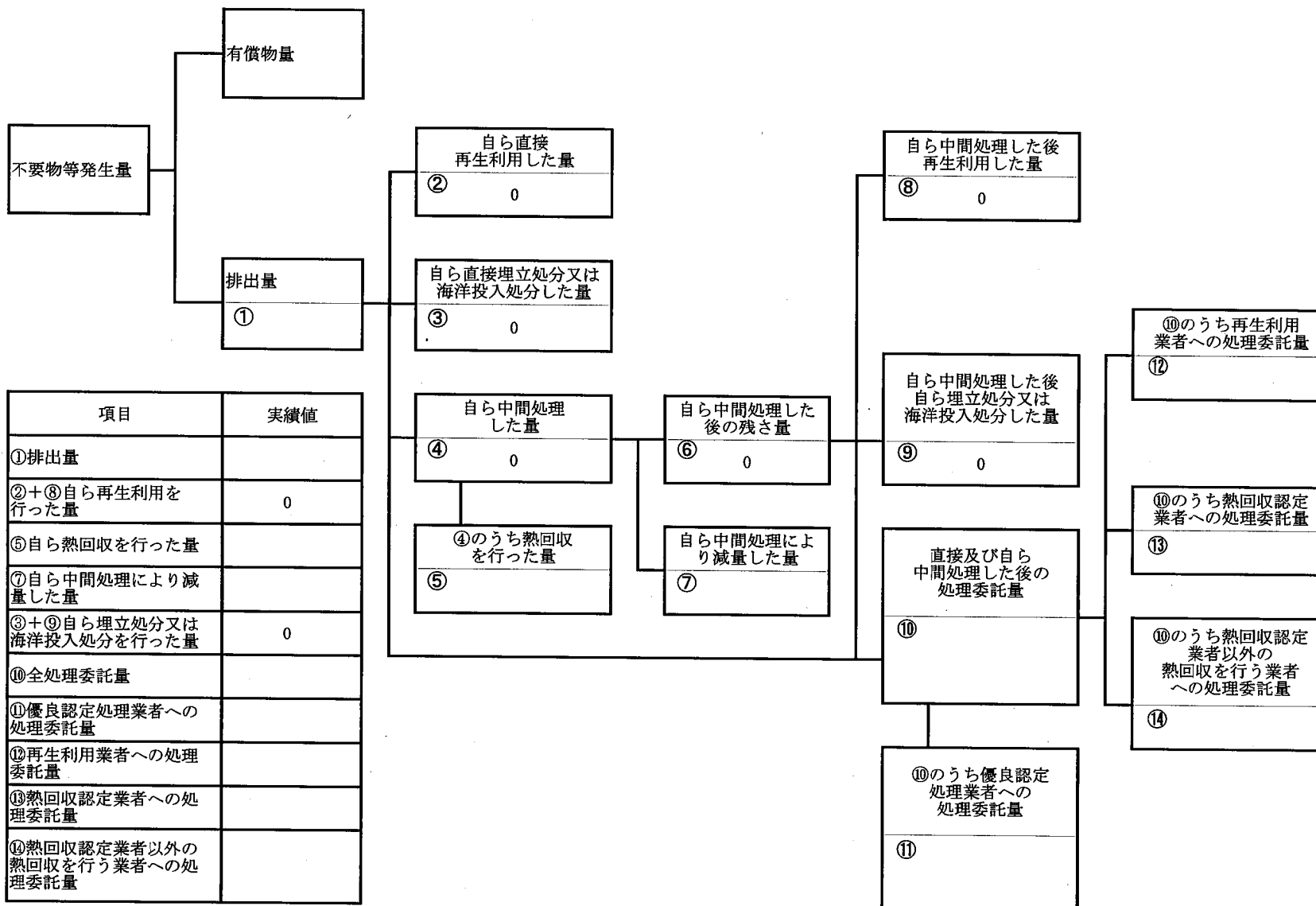
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：排水汚泥)



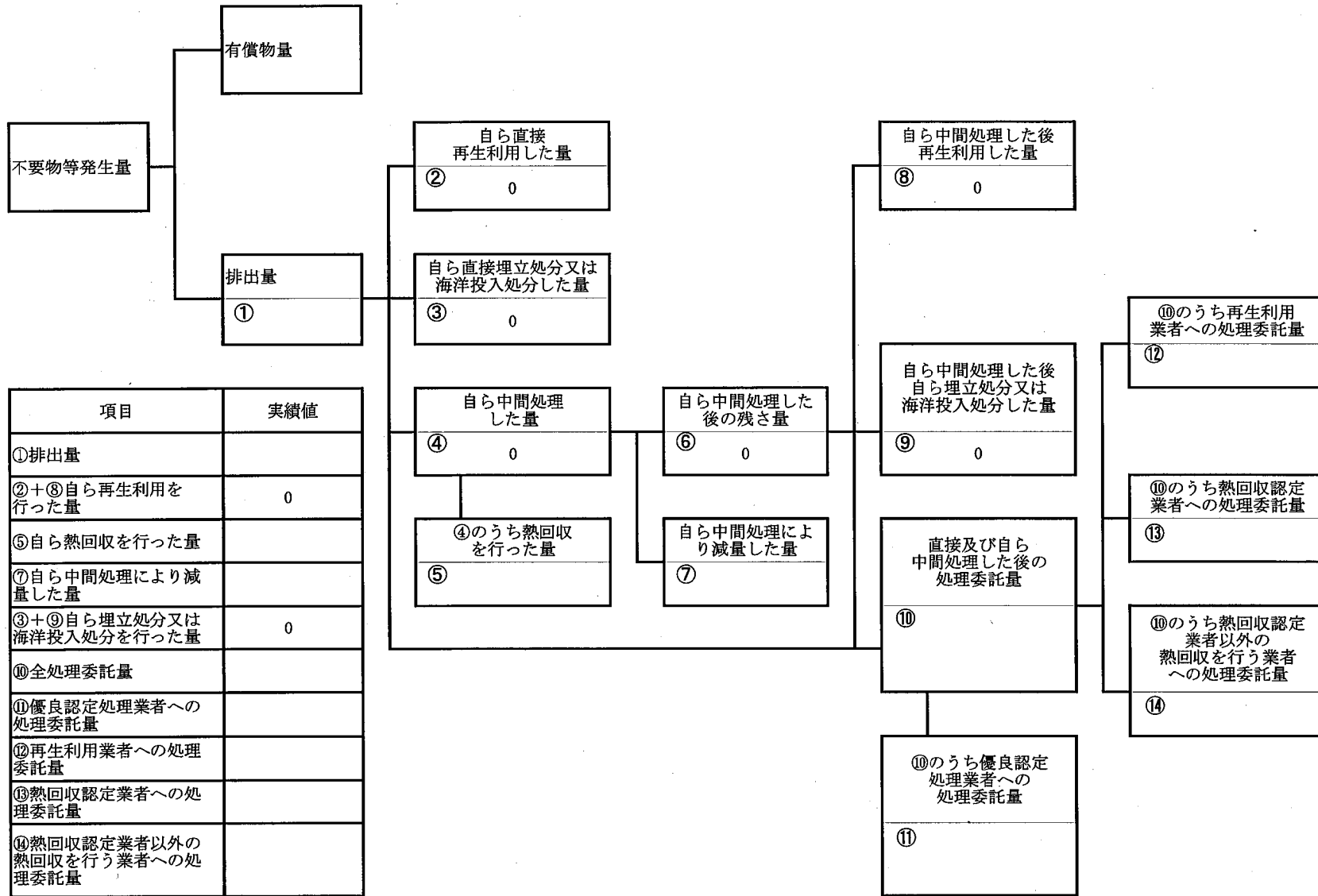
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：汚泥)



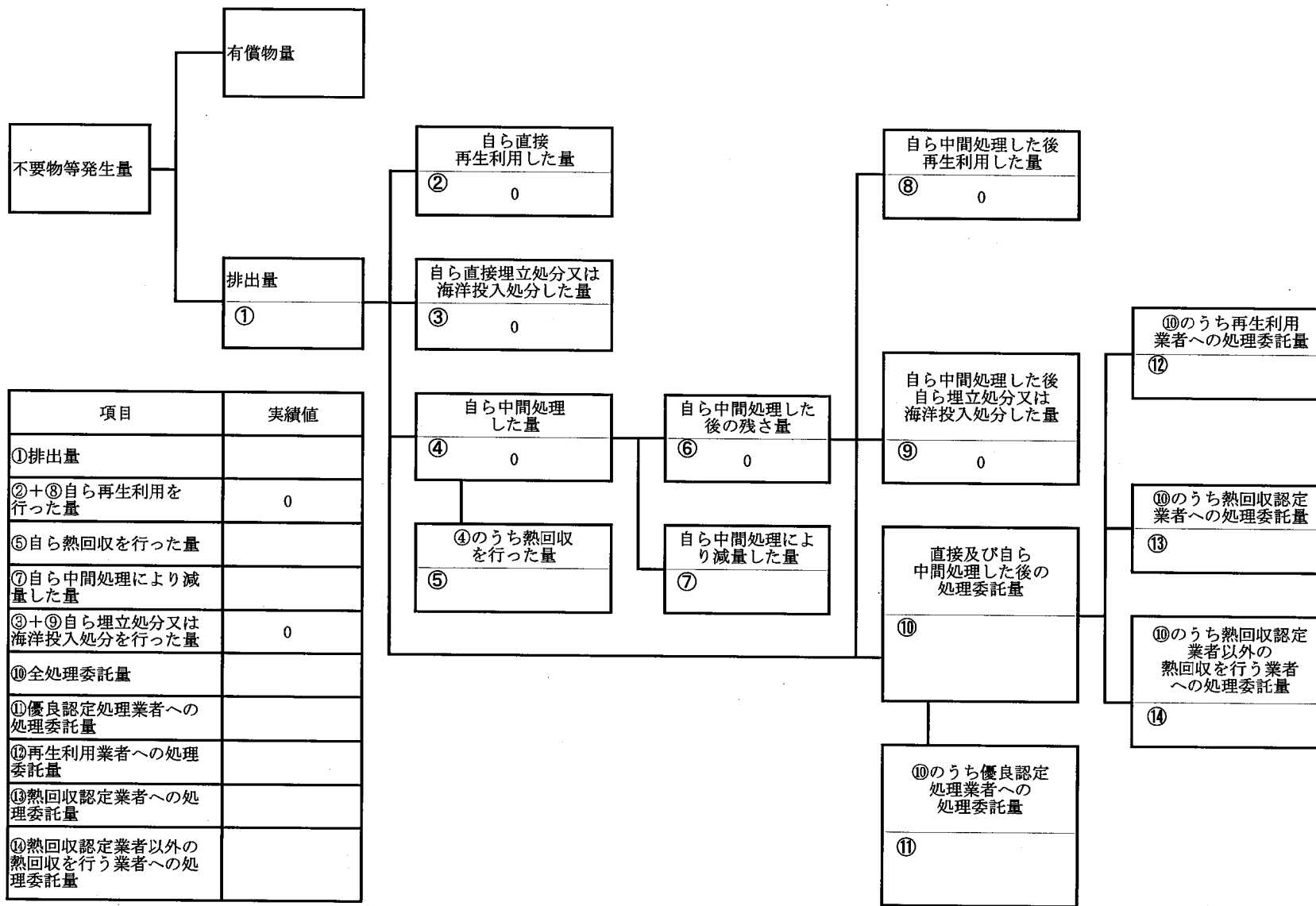
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：研磨スラッジ)



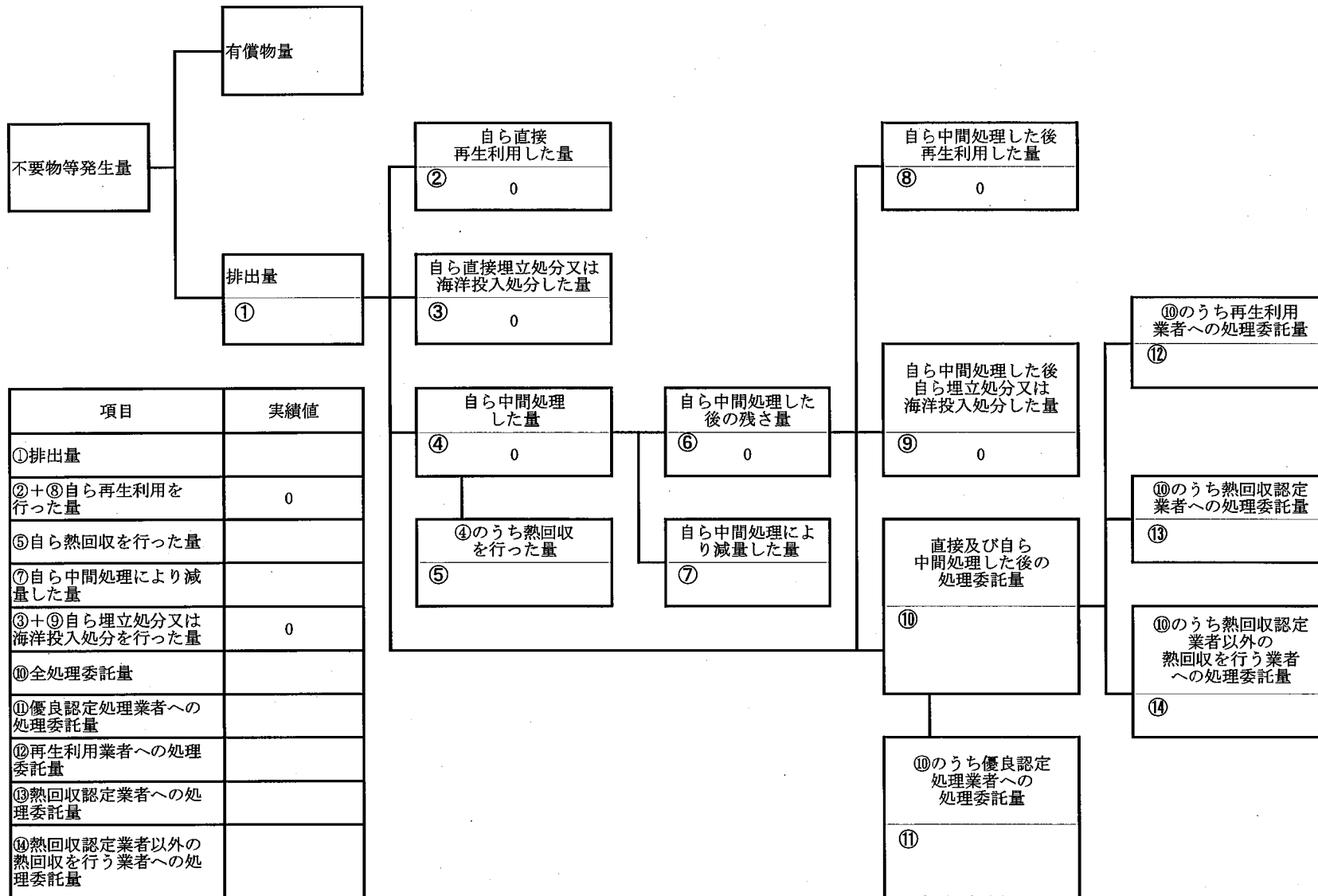
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃油)



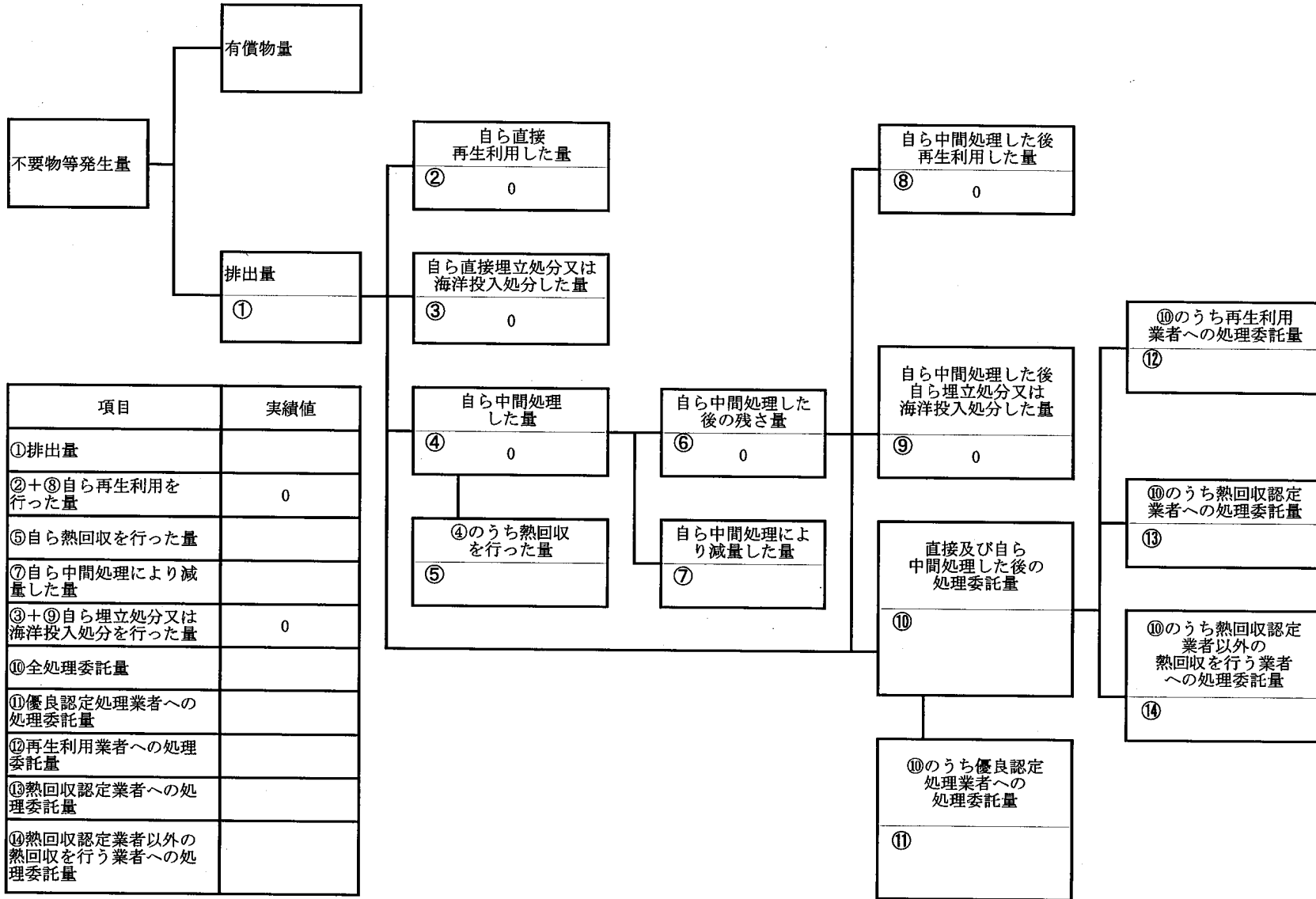
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃プラスチック)



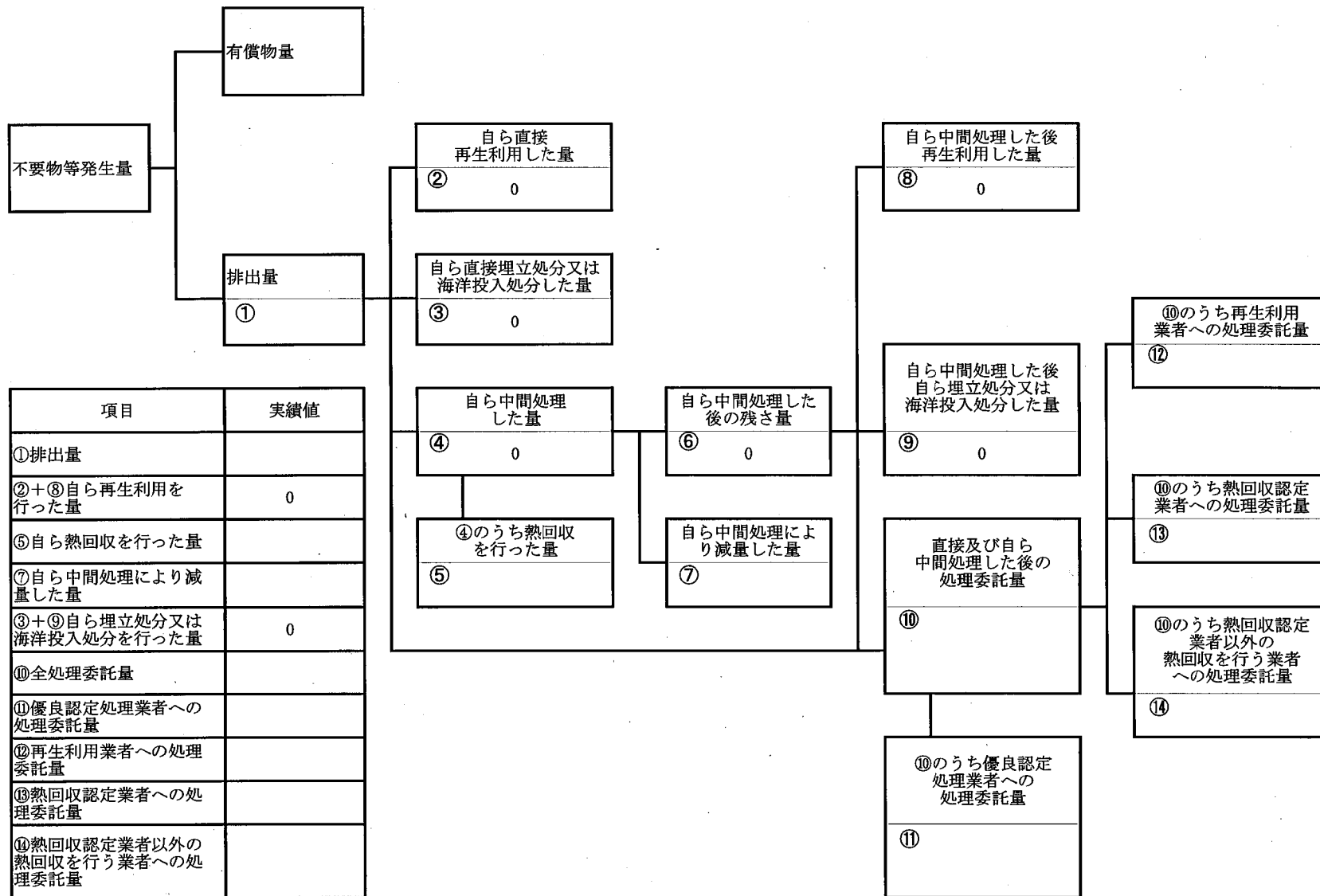
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：木くず)



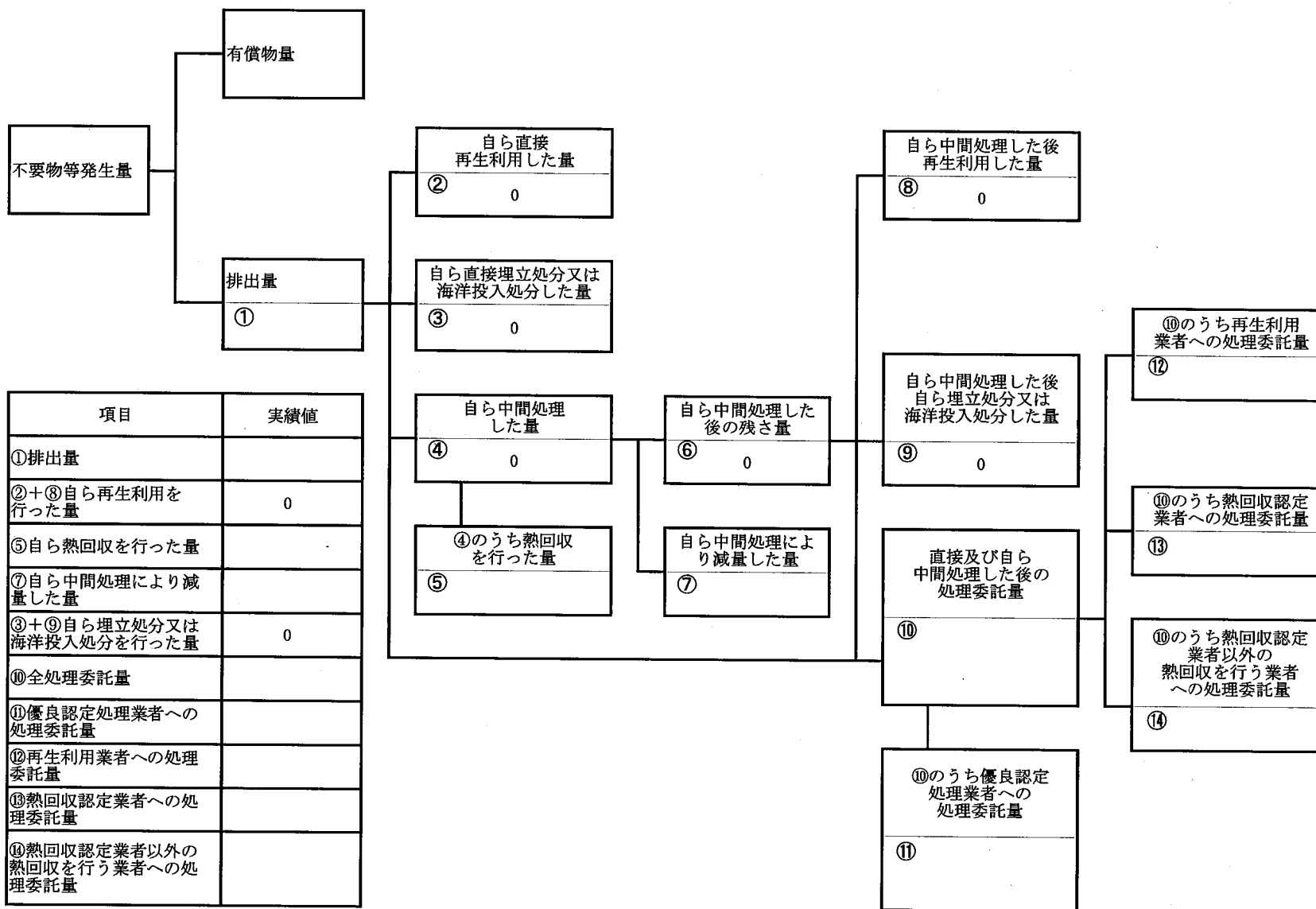
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：ガラス・陶磁器くず)



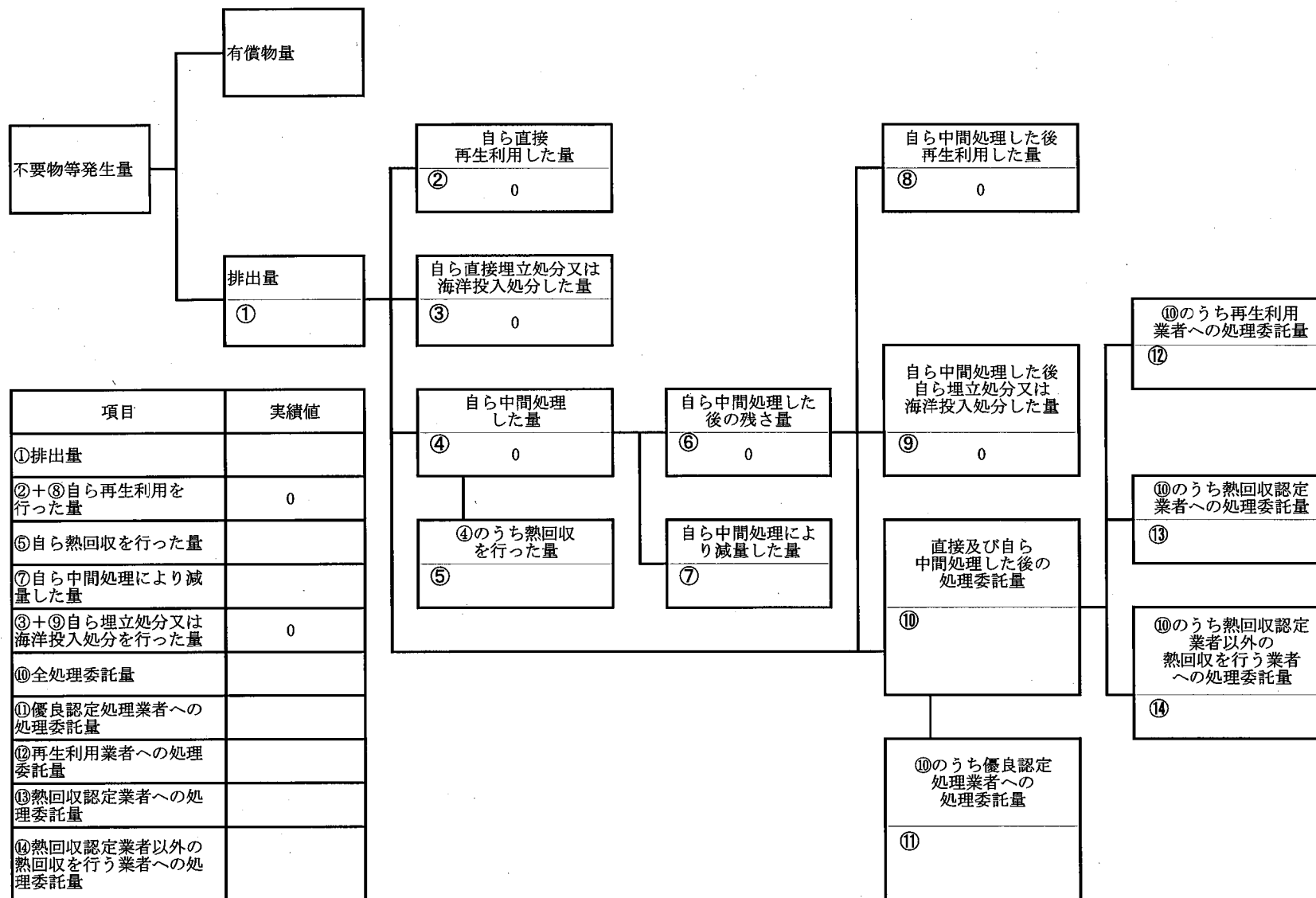
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：金属くず)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：金属くずと汚泥の混合物)



(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に
した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)か
に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律が
第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法
第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者
焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値
入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産
業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 1)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	アイシン高丘株式会社 本社工場	従業員数 (人)	1,743人	前年度の3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	安全健康環境推進部 環境課 古田規敏	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)	—	建設業の場合記入。 愛知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	(電話) 050-3094-5319	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)	133,500	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	処理方法				
		焼却	焼却・溶融	脱水・乾燥	破砕・圧縮	中和
前年度計画の実施状況 (前年度実績)	a 不要物等発生量 (t/年)	19,389.370	10,121.330	3,689.400	4,350.560	100.980
	b 有価物量 (t/年)	304.800	369.510	0.000	0.000	0.000
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	19,084.570	9,751.820	3,689.400	4,350.560	100.980
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	⑥ 自ら中間処理した後の残量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	19,084.570	9,751.820	3,689.400	4,350.560	100.980
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	19,084.570	9,751.820	3,689.400	4,350.560	100.980
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0.000	0.000	1,438.230	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量 (t/年)	19,084.570	9,751.820	2,251.170	4,350.560	100.980
	処理方法	A	A	C	C	A
	g 委託中間処理により減量した量 (t/年)	954.229	1,950.364	0.000	0.000	0.000
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	18,130.342	7,801.456	2,251.170	4,350.560	100.980
	再生利用用途	A	A	A	A	A
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	18,130.342	7,801.456	2,251.170	4,350.560	100.980
	k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	954.229	1,950.364	0.000	0.000	0.000
	l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	0.000	0.000	1,438.230	0.000	0.000

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A: 原料・材料 B: 燃料 C: 飼料・肥料 D: 建設材料 E: その他 (具体的に記載)

3 処理方法コード A: 焼却・溶融 B: 脱水・乾燥 C: 破砕・圧縮 D: 中和 E: その他 (具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No. 欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 2)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	アイシン高丘株式会社 本社工場	従業員数 (人)	1,743人	前年度の3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	安全健康環境推進部 環境T 古田規敏	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)	—	建設業の場合記入。 愛知県内 (政令市を除く) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	(電話) 050-3094-5319	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)	133,500	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	汚泥	汚泥	廃油	廃油	廃プラスチック
		排水汚泥	汚泥	研磨スラッジ	廃油	廃プラスチック
前年度計画の実施状況 (1年度実績)	a 不要物等発生量 (t/年)	760.480	37.341	45.860	439.881	157.780
	b 有償物量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	14.600	0.000
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	760.480	37.341	45.860	425.281	157.780
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	⑥ 自ら中間処理した後の残量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	760.480	37.341	45.860	425.281	157.780
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	760.480	37.341	45.860	425.281	157.780
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量 (t/年)	760.480	37.341	45.860	425.281	157.780
	処理方法	A	A	A	A・E (油水分離)	A・C・E (選別)
	g 委託中間処理により減量した量 (t/年)	380.240	18.671	41.274	382.753	142.002
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	380.240	18.671	4.586	42.528	15.778
	再生利用用途	A	A	A	A・B	A・B
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	380.240	18.671	4.586	42.528	15.778
	k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	380.240	18.671	41.274	382.753	142.002
	l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A: 原料・材料 B: 燃料 C: 飼料・肥料 D: 建設材料 E: その他 (具体的に記載)

3 処理方法コード A: 焼却・溶融 B: 脱水・乾燥 C: 破碎・圧縮 D: 中和 E: その他 (具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No. 欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 3)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	アイシン高丘株式会社 本社工場	従業員数(人)	1,743人	前年度の3月31日現在の従業員数(パート等の臨時職員及び役員等を含む)を記入して下さい。
記入者名	安全健康環境推進部 環境I 古田規敏	当該事業所の元請完成工事高(万円/年)	—	建設業の場合記入。 愛知県内(政令市を除く。)で行われた工事の年間の元請完成工事高(出来高工事を含む)を記入して下さい。
連絡先	(電話) 050-3094-5319	当該事業所の製造品出荷額(万円/年)	133,500	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	木くず	ガラス・陶磁器くず	金属くず	金属くずと汚泥の混合汚泥
		木くず	廃蛍光灯	金属付廃プラ	廃乾電池
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (年 度 実 績)	a 不要物等発生量(t/年)	35.370	11.620	4.920	1.530
	b 有償物量(t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000
	① 排出量(t/年) (①=a-b)	35.370	11.620	4.920	1.530
	② 自ら直接再生利用した量(t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量(t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量(t/年) (⑦=④-⑥)	0.000	0.000	0.000	0.000
	⑥ 自ら中間処理した後の残存量(t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量(t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量(t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0.000	0.000	0.000	0.000
	d 直接処理委託量(t/年) (d=①-②-③-④)	35.370	11.620	4.920	1.530
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量(t/年) (⑩=c+d)	35.370	11.620	4.920	1.530
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量(t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量(t/年)	35.370	11.620	4.920	1.530
	処理方法	C	C・E (選別)	E (選別)	E (選別)
	g 委託中間処理により減量した量(t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000
	h 委託中間処理した後再生利用した量(t/年)	35.370	11.620	4.920	1.530
	再生利用用途	B	A	A	A
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量(t/年) (j=②+⑧+h)	35.370	11.620	4.920	1.530
	k 中間処理による減量(t/年) (k=⑦+g)	0.000	0.000	0.000	0.000
	l 最終処分量(t/年) (l=③+⑨+e+i)	0.000	0.000	0.000	0.000

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A: 原料・材料 B: 燃料 C: 飼料・肥料 D: 建設材料 E: その他(具体的に記載)

3 処理方法コード A: 焼却・熔融 B: 脱水・乾燥 C: 破碎・圧縮 D: 中和 E: その他(具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。